

第1回宮城県広域防災拠点整備検討会議 議事録

日 時：平成25年6月25日（火）10:00～11:30

場 所：宮城県庁行政庁舎6階 震災復興・企画部会議室

出席者：委 員：牛尾陽子委員、小坂健委員、佐藤健委員、沼倉勝則委員、宮寄浩一委員
（代理 加賀聖康様）

事務局：宮城県 後藤震災復興・企画部理事兼次長、千葉震災復興・企画部震災復興政策課長

桜井土木部都市計画課長、千葉総務部危機対策課副参事兼課長補佐
ランドブレイン（株） 岩田技術部長、六本木担当部長

■あいさつ（宮城県後藤理事）

- ・市町村を中心に、県はバックアップしながら被災者支援が進んでいるところであるが、県の役割として広域的な視点からどのようなことが必要だったのかを総合的に検討して進めることが重要と考えている。
- ・医療機関、自衛隊、民間、仙台市の消防など各委員が所属される組織活動をはじめとした様々な要素が組み合わさって、発災当時の厳しい時期を乗り切れたと考えている。
- ・しかし、そのような活動が全体として、拠点性を持って行われたかという点が課題と認識しており、物資等の緊急集積場所、医療機関活動のバックアップ拠点、自衛隊の連携を求める拠点が必要でなかったかと考えている。
- ・東日本大震災後、JR貨物でも移転を再度検討してみようという声が上がったと受け止め、国立病院機構仙台医療センターの移転計画のほか、仙台市陸上競技場を所管している仙台市、宮城県といった関係者が、この機会が宮城野原地区を広域防災拠点として整備していくタイミングであったという共通認識をもつことができたと考えている。これら4者が基本的な方向性を確認するなかで進んできており、どのような機能をもたせるかをこの委員会のなかで検討いただくことになる。
- ・今回の震災における様々な活動から導かれる反省、課題、今後の方向性などについて、皆様方の経験、今後の展望をもとにご意見をいただければと思う。
- ・秋口くらいまでには方向性を出し、年度のなかで検討結果をまとめていきたいので、通常の委員会に比べて頻度が高く、皆様方にはご苦勞をおかけすると思うが、よろしく願います。

■議事概要

議事1：委員長の選出について

（委員長の互選について各委員から意見がなく、事務局提案の佐藤委員に決定）

委員長あいさつ

- ・大役を仰せつかったが、委員の皆様方の専門性や今回の震災の経験などを踏まえ、

忌憚のないご意見をいただきながら、検討を進めていきたいのでご協力をお願いします。

議事 2：宮城県広域防災拠点整備に関するこれまでの経過について

委員長：・一般的な広域防災拠点の規模として、今回の宮城野原地区の規模はどうか。

事務局：・備える機能とカバーエリアによって規模は異なってくる。他の地域への拠点の配置、役割分担なども影響することから、全体に対する県の考え方も整理しながら機能を位置づけ、規模を考えていきたい。
・後ほど事例をご紹介する。

牛尾委員：・「広域」の定義を出していただきたい。
・既存の交通体系を利用した拠点整備事業（のみ）を考えるのか。国道 4 号、45 号だけでは交通体系が不足するのではないかと思うが、周辺の道路整備は考えないのか。

事務局：・県全域をカバーする機能をもたせるべきと考えている。一方、気仙沼、石巻、仙南などの各地域の公園等を利用した地域拠点があると思うので、それらをカバーする拠点として整備することを考えている。
・既存のインフラを前提としたいが、必要なインフラがあれば今回の検討のなかでご意見をいただければと考える。

小坂委員：・県の地域防災計画の改訂が進んでいると思うが、特にソフト面との関係があると思うので、進捗状況を知りたい。
・県内をカバーするといっても、今後の震災を考えると（他県との連携や基幹的広域防災拠点を目指すなど）県内だけを考えていくのではダメではないかと思われる。

事務局：・今年 2 月に地域防災計画を改定したところで、宮城野原地区に関する位置づけはない。今回の検討を受けて検討していきたい。

事務局：・県内に一つか複数あるという広域防災拠点を考えており、県内の各地域において市町村でも広域防災拠点を考えられるという話もあるので、それらを含めたネットワーク化までを考えている。
・基幹的広域防災拠点は、県の復興計画において他の場所で国に整備をお願いしているので、今回の検討では考えない。

沼倉委員：・この会議では、広域防災拠点と地域防災拠点までをターゲットとするのか。

事務局：・宮城野原地区をどうするかが主眼であるが、県全体の防災計画との絡みや地域の防災計画・拠点が動いているという状況もあるので、それらにらみながら進める必要はあると思っている。

議事3：今後の検討の進め方

- 沼倉委員：・成果物はどのようなイメージか。
- 事務局：・基本構想は導入する機能、基本計画は土地利用計画のレベルである。
- 委員長：・後ほど事例の紹介があるかも知れないが、先行事例を見て理解を深めていくことが有益と考える。日程や予算の関係があると思うが、検討いただければと思う。
- 事務局：・課題はあるが、可能な方法を検討してご相談したい。
- 委員長：・本会議の検討後の報告書等の扱いはどうなるか。上位の検討会、組織のようなものはあるのか。
- 事務局：・上位に検討会などはなく、今回の報告書をもとに県として防災拠点はどうするかを検討する予定である。
- 小坂委員：・立地条件の良い大規模なスペースなので、通常時の活用は重要と思う。検討会議の場だけではなく、かなり幅広く意見も求められるだろうし、場合によっては方針だけを示して別に検討することも想定しておく必要もあるのではないか。
- ・他県の拠点を見たことはあるが、平常時は人の利用も少ない印象があったので、先を見てじっくりと検討をした方が良いと思う。
- 事務局：・ほとんどの時間帯が通常時になるので、重要なポイントと考えている。実際に事業が動き出した段階で本会議での意見を反映しながら計画していくことになると思うので、よろしくをお願いします。
- 沼倉委員：・広域防災拠点は、いろいろなエッセンスが入った施設であるので、この会議でできあがったものがその通りということになるかという点に関して事務局の考えは。
- 事務局：・検討要素のなかから宮城野地区に必要なものをあげ、その概要と方向性を出していただくのが第一命題。それを県（行政機関）としてどう活かすのかを考えるかは次の段階で検討すべきと考えている。各委員におかれては、ご専門の立場からご提言いただきたい。
- 牛尾委員：・(資料2に戻るが)宮城野原地区にKスタが入っているのに違和感がある。JR貨物用地が拠点整備事業の対象になると思うが、(整備機能と規模の面で)これらの兼ね合いをどう考えたら良いのかと思う。
- 事務局：・付帯的な機能として運動場の利用なども考えられるが、具体的に防災拠点として機能整備するのは、仙台貨物ターミナル用地が中心になると理解していただければと思う。

議事4：「広域防災拠点に必要な機能」について

- 牛尾委員：・防災拠点に関する資料が提示され興味深いですが、費用に関する情報がない。建設、運営等の費用に関する費用を提示して欲しい。
- 事務局：・検討する。
- 小坂委員：・これから対策を練っていくなかで、ロジスティクスを行政がするのでなく企業と組むというやり方はないのかと思う。他県で民間を活用した先行的な取組みがあったら教えて欲しい。
- ・介護施設は備蓄もあって（地域の）重要な拠点になると思うし、備蓄は学校を含めて進んでいる。地域拠点が定まっていななかで、地域拠点をサポートする（広域拠点の）計画は立てにくいと思し、場合によっては（広域防災拠点の機能を）減らすこともできるのではないかと思ひ質問した。
- 事務局：・岐阜県ではトラック協会が、平常時はフォークリフト技能講習等に使用し、災害時には物資の拠点とする集配センターを整備された。民間倉庫を活用することで拠点の分散配置もできるので、これら事例を踏まえて検討したい。
- 牛尾委員：・東日本大震災では、亡くなった方々のご遺体の問題が特徴的であったと思う。広域防災拠点に関する今回の議論のなかでどう扱うのかなと思う。
- 事務局：・東日本大震災では、グランディのほか使っていない学校の体育館などを使用した。広域防災拠点でそこまで考えるのは難しいと考えている。
- 沼倉委員：・ご遺体の対応はどちらかといえば避難所と施設が重複するケースが多いが、防災拠点は災害対応するための拠点であることから、切り離して考えるのが良いと思う。
- 委員長：・総務省の平成15年の報告書をもとに各地の先行事例が進んできたようだが、その後の検討や報告書に関して消防庁や内閣府などの動きはないのか。
- 事務局：・国の防災計画や災害対策基本法では広域防災拠点に関する明確な位置づけはない。資料7で紹介した資料は、国の計画のなかで防災に関する拠点に何があるかを整理したもの。
- ・広域防災拠点は、都道府県が独自に定義している場合が多く、今回も宮城県としての考え方を明確にしていく必要があると思っている。
- ・基幹的広域防災拠点は都市再生プロジェクトとして整備されたものであるが、国は現地対策本部の設置に重きをおいているところがあり、国と県の役割分担の考え方を検討する必要がある。
- 委員長：・平成15年の報告書を希望される委員の方にお配りして欲しい。

- 事務局：・公開されている報告書であり、PDFデータの配布を含めて検討する。
- 沼倉委員：・消防庁は今年3月に、宮城県の消防課長も委員に参加された緊急消防隊の活動拠点に関する報告書を出されている。今回の震災では、緊急消防援助隊への後方支援やオペレーションに困ったように拝見するので、参考にしてほしい。
- 委員長：・関西連合といった取り組みのある兵庫、大阪、和歌山で、隣接する県の拠点の相互支援の考え方などがあれば、参考事例として示していただけるとありがたい。
- 事務局：・京阪神の基幹的広域防災拠点の検討において、京阪神圏の広域防災拠点のあり方の方向性を示したものがあつたと記憶しているので、次回にお示ししたい。
- 委員長：・予定の時間になつたので本日の会議を終わりたい。
・事務局からその他についてあれば。
- 事務局：・次回の委員会は7月29日（月）を第一候補に予定したい。

以上